

№.211

みぶ町政だより

10月号

昭和51年10月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場（毎月24日発行）

昭和34年9月30日 第三種郵便物認可 一部9円



「体育の日」に歩け歩け大会

第7回町民歩き歩け大会は、10月10日の「体育の日」にちなんだ約200人が参加して開かれました。

この日は、前日の雨天からますますの天候となつて、午前6時30分には中央公民館前広場に大勢の参加者が集まり、準備体操をして午前7時に出発しました。

コースは、中央公民館から西高野を通り、釜ヶ淵を折り返しての約4.5キロメートルをみんな元気よく歩きました。

参加者は、70歳以上（35名）をはじめ、子どもや学生などが最後まで歩き続けました。

終了後、高齢者の方々に参加賞が佐藤町長から贈られました。

今月の人口

10月1日現在	対前月比
総人口 31,575	74人増
男 15,653	38人増
女 15,922	36人増
世帯数 8,030	28世帯増

11月は「納税強調の月」です（納税で住みよい町を建設しよう）

八つの自治会で防犯組合を設立

おもちゃのまち連合自治会防犯組合

現在の社会は、都市化の進展による社会構造の急激な変化によって、社会連帯感が減少し、また、価値観の変化に伴い道徳心の後退など、社会的な制力が弱くなりつつある現在、必然的に自分律する機能の復活や、地域社会の組織化などによって犯罪に対する抑制力を強化する必要がある。「この趣旨に従い、犯罪のない、明るい地域社会づくりを積極的に推進して、相互の連携と親睦を図ろう」と、このほど、八つの自治会が意気同然して組合を立つて発足された。

八つの自治会とは、新興住宅街である玩具団地、東武団地、東武第二団地、壬生アパート、駅東第一、第二、第三団地、独協学園前団地です。

これらの自治会が「おもちゃのまち連合自治会防犯組合」と称し、約一千世帯、人口が約三〇〇人が組合員となり、去る十月一日に組合の代表者たちが集まって、防



上……で上がった看板を適所に立てる
右……役員の人たちが自分たちで看板作り

犯を呼びかける看板一本を作って要所に立てました。

十月二日午後六時から玩具団地内の厚生会館で発足式が行われました。

発足式には、小川柳木警察署長をはじめ、大久保生卒部派出所長、佐藤町長、そのほか防犯関係者の数が出席して、昭和五十一年度の活動計画および収支予算などが決議されました。

また、役員が決まり組合長に川又康治氏、副組合長に渡辺勇氏と上野武敏氏、理事に各町の自治会長、それに幹事として防犯連絡員三十名、子供会副会長長、若木がそれぞれ選ばれ、地域ぐるみの活動を展開することになりました。

なお、この防犯組合の主な活動の内容は、

- 防犯パトロールの実施
- 防犯協議会および映画会等の開催
- 緊急時における相互連絡体制の確立
- 防犯の点検および門、軒灯の深夜点灯の励行
- 危険場所の総点検
- 児童、生徒の防犯思想の普及高揚
- 環境整備事業の実施

壬生高で「かんびよう踊り」

ふるさと運動を促進



町教育委員会では、青少年の健全な集団活動による地域の伝統の継承、発展および豊かな生活環境の醸成などを教育事業として「ふるさと運動」を促進しようとして、この運動の具体的事業の内容としては、すでに実行されている五

町教育委員会では、青少年の健全な集団活動による地域の伝統の継承、発展および豊かな生活環境の醸成などを教育事業として「ふるさと運動」を促進しようとして、この運動の具体的事業の内容としては、すでに実行されている五

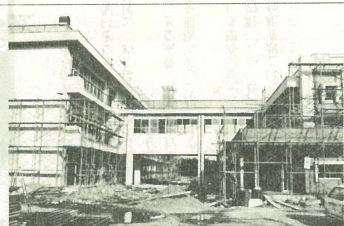
段降子、大杉降子の伝承事業、また、小山（今市線、東道）の鹿沼街道花いっぱい運動事業、これに加えて町の歴史を勉強するための講座開設などを企画し、勤労青少年、在学青少年の社会教育の場において、学習活動を展開するものです。

このよなことから、この事業のトップを切って壬生高の生徒たちに、地元の「かんびよう踊り」を伝承されました。

壬生高では、九月二十五日から三週間わたって学校が盛大に行われ、最終日の二十七日、午後五時半から後夜祭が開かれ校庭の中央にフアイヤールを焚き、地元のかんびよう踊り（保存会、山川伝一会長）の人数が約二十名が囃子や歌を披露し、これに合せ、生徒全員が手踊りを行い、すばらしい後夜祭でした。

新設小学校ほぼ完成

校名は「睦小学校」と命名



完成まじかになった睦小学校

教育文化祭の日程

昭和五十一年度の壬生町教育文化祭は次の日程で開かれます。

みなさん、ふるつて参加ください。

場所は、中央公民館が主会場になります。

くわしくは、町教育委員会へおたずねください。

○菊 花 十一月十日

○文 筆 十一月二十七日

○生 花 二十八日

○茶 道 十一月三日

○文化財 十一月四日・七日

○盆 裁 十一月五日・七日

○民 謡 十一月十四日

○書 道 十一月二十日

○絵 画 十一月二十日

○詩吟詩舞 十一月二十日

○文 筆 十一月二十七日

○生 花 二十八日

心配ごと相談所

第一火曜 十一月十日
役場日本間

第二火曜 十一月九日
稲葉公民館

第三火曜 十一月十六日
役場日本間

第四火曜 十一月二十一日
南大町公民館

相談料は、無料です。しかし、時間も、いずれも一時から三時まで

婦人たちが道路清掃

至宝町の主婦五人が毎一回、果道子都呂、松木線を、空カンや大きなゴミを拾い清掃を行っている感心な方がおられます。

この人たちは、庄司きよ子さん、田代よし子さん、青木利子さん、平川ミヤ子さん、鈴木米子さんの五人で、二月ほど前から地元乃至宝町の果道子都呂を、清掃している。

これは、子どもの危険防止、地元の美化運動とから、せめて自分たちの環境をよくしようと始めたそうです。

これからは、グループを大きくして、美化運動を続けたいと話しております。

病気のいろいろ

その二十二

独協医科大学リハビリテーション科

教授 高橋 勇

リハビリテーションという言葉は、この頃新聞やテレビに頻繁に出てきたので、みなさんよくご存知のことと思います。

しかし、本当の意味を理解している人はほとんどおられないようです。

リハビリテーションの本来の意味は「もともとしよ」ということで、復讐、回復、更生などとも訳されていますが、いずれもどこかピンと来ない述語なので結局英語をそのまま、仮名書きとしてリハビリテーションと呼んでいるのです。

病気には、たとえば風邪のようにある期間養生することによって全く前の状態に治つてしまふものが沢山ありますが、反面またびるの病気が多く、いかに理想的に治療が行われても大か少なかれ後遺症をのがれない性質のものも沢山あります。

つまり身体障害を残すことになる脳卒中や頭部外傷による麻痺リウマチや変形性関節症などの関節炎、脊髄損傷による手足の麻痺、四肢の切断、骨折、脱臼その

他、外傷、末梢神経のけが、進行性の神経や筋の疾患、内臓障害などか統計的には多く、小児の障害としては、脳性麻痺、先天性の脊髄障害（二分脊椎など）、先天性四肢欠損、外傷、後遺症、筋ジストロフィー症、側索硬化症などがあり、また、大人と子どもを問わず言葉の不自由な方も意外に多いものです。

実はこれらの患者さんたちが、ふたたび前と同じようになつて暮らすように治療するのかりリハビリテーションなのです。

まず医師の診察によって障害の性質を分析し、治療の方針を立てて、そして歩ける人は歩けるように、手が不自由な人はその手が使えるように、理学療法士と作業療法士、言語治療士や看護婦などのがチームになって治療にあたります。

最後に、前掲げたような疾患に対しては、障害をなるべく残さないようにするために、病の起こる初期の頃から科に協力して治療に当るのが建前になっています。

交通事故をなくそうと 各小学校でパレード



壬生小の鼓笛隊

九月二十一日から三十日までの十日間にわたって全国一斉に「秋の交通安全運動」が実施されました。この運動の準備期間中には、交通事故をなくしようという運動である。

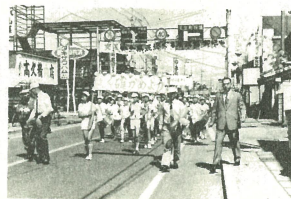
月かげ幼稚園でもパレード

月かげ幼稚園でも、九月二十七日に交通安全運動として、鼓笛隊が大通りをパレードしました。園児たち約百人ほどが、笛や太鼓などを持って、日頃の練習で

一口メモ

- 漏電を防ぐには ●●●
- 原因がわからない火災があると、漏電ではないかといわれることがあります。漏電して発火するのは、もれた電気が大地に流れる途中でトタン板の継目やモルタルラス（金網）のようところに通りそこで熱を発生し、その近くに木材や紙など引火しやすいものがあるときです。東京電力では2年に1回みなさんの屋内配線が安全かどうかを無料で調べてその結果をその場でお知らせしています。不良箇所があったら直ちに改修してください。
 - 新しい電気配線から漏電することはまず考えられませんが、配線が古くなったり、雨もりかして配線の絶縁材料が湿りやすくなると、少しずつもれること直しても悪化して、悪いところは早く直して、安心して電気を使うようにしましょう。

電気は大切に使いましょう



月かげ幼稚園園児たち

慰霊碑の除幕式を行います

壬生町戦没者慰霊碑建立実行委員会では慰霊碑の除幕式および特別慰霊祭を行うことになりました。

◇とき 11月12日(金)午前10時から
◇ところ 老人憩いの家北側

◇アトラクション

12時30分～2時30分

- 奉納剣術大会
- 奉納剣道大会
- 歌謡曲、民謡大会
(歌手：キングレコード専属元従軍慰問団員寿川有里子一行)
- 地元民謡



横断旗が寄附



字都富信用金庫壬生支店（見目光支店長）では、九月二十日に秋の交通安全運動を前にして、横断旗百八十本を町に寄附されました。同支店では、昭和四十七年から毎年この横断旗が贈られています。町では、さつそう横断旗所に配分して、子どもたちの交通安全を図っています。

消費者懇談会ひらく

九月八日に中央公民館で中小企業診断士東正高先生、商店街診断推進員および一般消費者など約五十人が参加して、商店街診断の一事業として消費者懇談会が開かれました。

その内容として
○おしやれ衣料はここで買うか
について、ほとんどの消費者が宇都宮市で買うと答えた。その理由として、品数が豊富、そして気軽に買物ができるといふことをあげていました。
○町商店街の満足度、大型店との比較
については、イ大型店を利用するため、商店街は素通り、ロ駐車場の不満、

井頭公園をご利用ください

県が広域公園として整備を進めている井頭公園は、真岡市下郷谷にあります。この公園には、一万アールをはじめ、野球場、運動広場、陸上競技場、テニス、バレーコート、子ども森、花壇などがあり、多くの人が利用されています。これらの施設に加え、今年は「ポート」及び「フィールド」スチレック施設を整備しています。フィールドスチレック施設については、試験的に開放した後、

大久保さんが 雑巾を寄贈



上長田の大久保ヘルノさんは、今年八十七歳になりますが、まだお目も達者で、縫い物をやっています。

そこで、安楽小学校の運動会までに雑巾を五十枚を縫い上げて、九月二十一日安楽小へ寄附されました。上長田の老人クラブ（中川順会長）でも、大久保さんへ大勢の会員たちが、各人で材料を持ち寄って、雑巾二百枚を縫う三十本を作り上げて安楽小学校に寄附しました。運動会を前にして、運動場の整備は竹ぼうきで何よりですと、おじよりには大変感謝しております。



老人たちの手で 清掃奉仕

国会長寿会（山田良吉会長）では、九月二十五午前九時から、四所神社の清掃奉仕を行いました。

この長寿会は、国会の四目治会のおとしよりの集りで、この日約七十人が参加して、草刈りなどの清掃を行いました。

この行事は、恒例になり、間近に行なわれる予定です。

また、秋の交通安全運動の期間中に際して、清のすんだ後十時から同所公民館で、大久保主生警察派出所長を講師に迎え、交通安全教室が開かれました。



空地の草を刈り取りましょう。（火災予防のためにノ）

